自ラヲ卑メタ歐米心醉時代ノ遺物ニ過ギナイ、昭和ノ今日ハコンナ語ハ地球上カラ一掃シテ死語ニシテ仕舞ヒ世界ニ向ッテ日本 Nippon ト大聲デ呼ビカケルノガ當然デアル

此頃ハ新種ノ發表ヲ見テモ japonica 等ノ種名ハ餘程少イガ近クハかわごけそう Cladopus japonicus ノ例ガアル併シ此事ハ寧ロ下等植物ヲ外國ノ專門家ニ送ッテ命名ヲ受ケル時ニ起リ易イ、例ヘバ Brotherus 氏ガ命名シタ ささをかごけ Sasaokaea japonica ノ如キモノガ多イ、ダカラ誰カ外國語ニ達者ナ方ハ此事ニ關シテ名文ヲ認メテ彼等ノ注意ヲ喚起シ更ニ此次ノ萬國植物學會議ニ持出シテ大イニ主張スル所ガアッテ然ルベキデアル

此事ハ植物界ニ限タ事デハナイ、日本人ハ外國ニ對シテ自分ノ立派ナ國號ヲ全ク用ヒナイ、手紙ニモ、商品ニモ、公文書ニモ Japan デアル、何ト情無イデハ無イカ、實際考ヘヤウニヨッテハ事國家ノ尊嚴ニ關スル重大問題デアル、我々ハ先植物界ノ事カラ之ノ改正ニ着手シヤウ

勿論日本ニモ先覺者ハ無イデハ無イ、nipponica 等ノ種名モ少シハ用ヒラレテ居ル、又牧野田中兩先生共著ノ日本植物志ニモ A Manual of Flora of Nippon. トアリ、近クハ本誌ニモ牧野先生ハ頻リニ Nippon 又ハ Taiwan 等ノ文字ヲ用ヒラレテ居ルノハ當然トハ言ヘ眞ニ愉快デアル

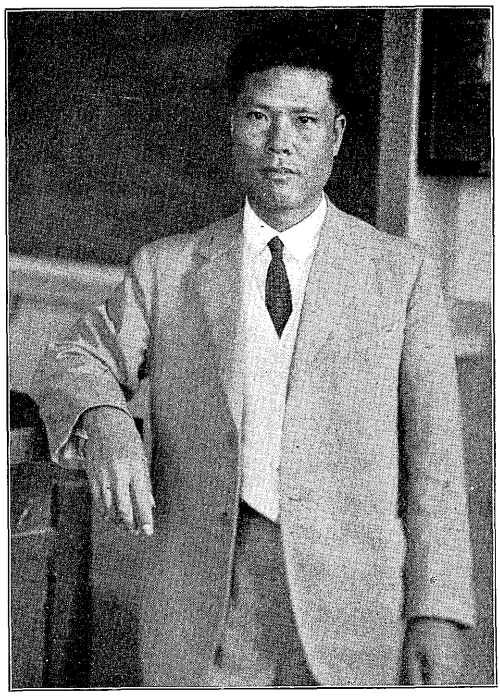
願ハクバ此事ガ早ク一般ニ實行サレン事ヲ、又願ハクバ外國語ニ達者ノ方々ガ名文ヲ以テ此意ヲ外國人ニ傳ヘテ之ヲ實行セシメラレン事ヲ　（六、三、三〇、京大理學部ニテ）

○けんぽなし語原ノ一考

栃木縣宇都宮市　中村正雄

植物研究雜誌第七卷第三號ニ於ケルけんぽなしノ記述文ヲ讀ミ興味ノ餘リ左ニ東北地方ニてんぽト言フ言葉ガアリマス、其ノ例ニてんぽもない（眞實ラシカラヌ或ハ飛ンデモナイノ意）其レ

ガ詰ッテてんぽつき或ハてんぽこき(虚言ヲ云フ人)ナド、申シマス、此ノてんぽニ就キテ私ニ一案アルノデス、モダン人ニハ餘リ使ハレマセンガ我國語ニけんぼト云フ言葉ガアリマス、是レハ眞或ハ正シキノ意味カト思ヒマス、是レガてんぽニ訛ッタモノト解釋シタイノデス、實際東北ニハてんぽなしト稱スル人モアリマスガ多數ハけんぽなしト申シテ居リマス、ソレデけんぽなしノ意味ハ眞事デナキ梨ト云フ事ヲ詰メタモノト解釋シタイノデス、鄉里方言ニ就イテ考ヘタ事ガアリマシタノヲ思出シマシテ一興ニ供ヘマシタ次第デス



村松七郎君（秋田縣師範學校）
（昭和五年十月十二日撮影）

○石川理紀之助翁『救荒食圖解』ニ就テノ記

秋田縣師範學校　村松七郎

石川理紀之助翁ハ弘化二年二月二十五日羽後國秋田郡小泉村奈良周次郎三男ニ生レ後石川家ヲ繼ギ大正四年九月七十一歳ヲ以テ病ヲ得南秋田郡山田村ニ長逝サレタ、翁ハ天下ノ老農トシテ主トシテ農村經濟ノ方面ニ全力ヲ傾注シ奥羽諸國ハ勿論九州鹿兒島宮崎ノ諸縣ヲ始メ廣ク諸地方ニ赴カレ農村救濟ノタメ奔走、世ヲ去ルマデ寧日ナキ活動的生涯デアッタ